

つくば市記者会 御中

発信日：令和2年（2020年）10月9日（金）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術振興課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

電動車いすの利用に関する実証事業が始まります



つくば市は、経済産業省が実施している「多様なモビリティ導入支援事業」において、市内の高齢者を対象に電動車いすの利用に関する実証事業を開始します。実証事業では、市内2地域（千現地区、宝陽台地区）にお住まいの高齢者の方に電動車いすを使用いただき、移動手段としての活用可能性を検証します。

■実証期間（予定）

令和2年（2020年）10月12日（月）から11月1日（日）までの3週間

■実証場所

千現地区

ペDESTリアンデッキ（自転車歩行者専用道路）に近接している地域であり、つくば駅まで約2km、スーパーまで約1kmに位置することから、自動車の近距離移動の代替手段としての活用が期待される。

宝陽台地区

老年人口割合が50%を超える、市内でも高齢化率が非常に高い住宅団地であり、夫婦だけや独居の高齢者が多い。免許返納者も多いことから、買い物等の移動手段としての活用が期待される。

■実証内容

電動車いす導入による効果、安全性、利便性、及び活用に向けた課題を明らかにする。

調査手法：アンケート調査、移動GPS調査、
ヒアリング調査



実証で使用する機体
左：セニアカー（スズキ株式会社）
右：WHILL Model C（WHILL株式会社）

※実証事業への参加者は、すでに決定しています。

「多様なモビリティ導入支援事業（電動車いす等安全対策・普及推進事業）」とは
（経済産業省令和元年度補正予算事業）

電動車いすの社会受容性を高めるとともに、安全で魅力的な活用方法について、集中的に発信する事業。つくば市を含め、全国5地域（横浜市、調布市、静岡市、京丹後市）で地域実証が実施される。

